

研究機関：広島大学

|             |  |
|-------------|--|
| 研究課題名       | 肺癌患者の身体機能が肺切除術後の経過に及ぼす影響に関する検討   |
| 研究責任者名      | 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター<br>腫瘍外科 教授 岡田 守人   |
| 研究期間        | 2021年11月22日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日   |
| 対象者         | 2007年4月から2021年9月の間に、広島大学病院呼吸器外科で呼吸器悪性腫瘍の手術を受けた患者さん。  |
| 意義・目的       | <p>肺切除術を行う際の全身機能評価として心肺機能は確立した評価項目ですが、近年、握力や骨格筋量を指標としたサルコペニアや運動耐容能などの身体機能評価が新たな術後合併症や予後の予測因子として注目されています。手術侵襲が全身機能に及ぼす影響は肺切除範囲によって異なることが予想されますが、肺切除範囲毎の身体機能評価が術後経過に及ぼす影響は明らかにされていません。</p> <p>本研究では、肺切除範囲毎に術前の身体機能と術後経過との関連を明らかとし、さらに、手術前後の身体機能を比較することで肺切除範囲毎に手術が身体機能に及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。術式毎に術後合併症や死亡リスクの高い患者さんを術前に選別することができれば、患者さん毎により適切な術式を選択することが可能です。</p> |
| 方法          | <p>2007年4月～2021年9月の期間に肺癌に対して肺切除を施行した患者さんを対象に、術前後の身体機能と術後合併症、予後との関連を検索します。</p> <p>用いる内容は年齢、性別、喫煙歴、喫煙指数、6分間歩行、階段歩行、握力、関節可動域、呼吸機能、画像検査での間質性肺炎や肺気腫の有無、腫瘍の特徴、病期、顕微鏡検査での腫瘍や肺の特徴、手術時間、出血量、癒着の有無、合併症の有無、切除部位、切除肺容積、予後などです。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>  |
| 共同研究機関      | 特記事項なし   |
| 試料・情報の管理責任者 | 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人  |
| 個人情報保護について  | <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>   |
| 問合せ・苦情等の窓口  | 〒734-8551 広島市南区霞1-2-3<br>Tel: 082-257-5869<br>広島大学病院 呼吸器外科 見前 隆洋   |